

2026（令和8）年度 第1回十和隣保館・児童館運営審議会_会議録要旨

【日 時】 2026（令和8）年9月4日（金）
午後3時00分～午後4時00分

【出席者】 委 員 山中 弘子、伊賀 修、岡本 順一、芝 京子
田邊 千尋、谷崎 直子、山本 美知代
職 員 町民生活課長：川下 房代、竹内 由美

【欠席者】 委 員 仲 治幸

1. 開会

2. 委員長・副委員長の選任

委員長 伊賀修氏が立候補し、出席者の賛成多数により選任された。
副委員長 委員の互選により岡本順一氏が選任された。

議長 委員長 伊賀 修

3. 委員長あいさつ

4. 2025年度 事業報告

意見・質問

委員長：伊賀 高吾隣連で隣保館を名乗っている組織数は？

館職員：竹内 高吾ではなかったと思います。

委員長：伊賀 他のところはどんな活動をしているか。こども会活動などはしていないと思うが。

館職員：竹内 放課後集まれる場所になっているようだ。対象は特にきめてなくて、誰でも参加できる形。

委員長：伊賀 高吾の加盟数と参加の人数は。

館職員：竹内 須崎市、土佐市、中土佐町、日高村、四万十町で10名程度。

5. 2026年度 事業計画

意見・質問

委員：山本 親子料理教室、木工教室の募集はどうしている。

館職員：竹内 学校へ直接配布をお願いしている。

委員：谷崎 ミニデイに5年くらい参加させてもらっている。隣保館の特別事業としての取り組み、高齢者、障害者へのデイサービスとなっているが、取り組み内容、昼食についてもよく考えられて、本当にありがたい。参加者同士の交流も深められる。「家でひとりでいると何もできないが、こういう機会を作ってもらってみんなとの交流ができ、楽しく参加できる。合唱やリズム運動も取り入れたらどうか」という声も聞いた。今年は新たなメンバーも増えた。色々な地域の皆さんに参加してほしい。ねらいは福祉の向上と人権啓発のための交流事業であるので、そのねらいを大事にして交流し合うことが大事だと思う。

委員：谷崎 フィールドワークをこれまで行っていたが、学校が統合したためなくなった。学校の方ではどういう人権教育の取り組みをしているのか聞いてみたい。

委員長：伊賀 学校統合したあとの隣保館学習をどうするか、議題になったことはあったが、実際には、学校から隣保館の移動距離が長くなったことや、なんの予習学習もなしに来てじゃあなにかありませんかというわけにもいかんし、以前のような学習はできない。隣保館の意義や役割を勉強、学習すること

が現実にはできない。教師もデジタル化への対応でその技術も覚えんといかん、教師の負担も多く大変な状況になっている。

委員：芝 ミニデイの参加者が少なくなったら対象地域を広げてはどうか。

館職員：竹内 現在参加者が多くいっぱいいっぱい。15 人になっている。スタッフを入れて 22 人。調理や送迎もありこれ以上の増は厳しい状況。

6. その他

意見なし

7. 閉会あいさつ

(閉会 午後 4 時 00 分)